

木くぼり



No.
161

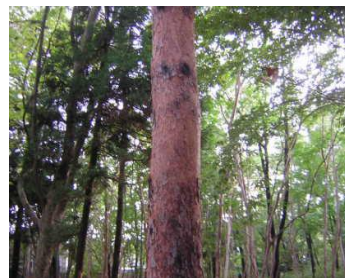
発行
'17 -10月号

今月の本 アカマツ

株式会社 ナガイ内
住まい教室 金谷教室

マツタケとともに長い寿命を全うする

アカマツの色は、心材は褐色、辺材は黄白に近い色です。心材の部分は小さく、マツ特有の性質から、節と節とが等間隔で現れる為、経木（木材を紙のように薄く削ったもの。菓子などを包んだり、菓子折りに敷いたりする。）に重宝されました。不毛な土地でも育つため、内陸部を中心に植林されてきましたが、1970年代から松くい虫の被害が爆発的に増加し、本州の多くの地域で産出が減少されました。現在は東北と長野県などの高地で産出されています。



マツタケと
共生関係にある
アカマツ

良好な環境のアカマツ林では、マツタケが多く見られます。アカマツとマツタケは共生関係にあり、マツタケの生える山は木の寿命が長いといわれます。

アカマツは古来、梁桁材として多く使われてきましたが、前述の松くい虫被害で減少し、平角材にした際の捻じれや狂いといった問題から、1990年頃から構造材としての使用が大きく減りました。その代わりに硬い冬目とやわらかく保湿性のある夏目のバランスのよさから、床材として注目されるようになりました。



保温性、耐久性の高い
アカマツの床

温暖な県内では特に、伐期に注意が必要です。10月～12月が最適とされています。年が明けると松は水を上げ始めるので、アオカビが入り易くなります。

8月19日(土) 夏休み親子ふれあい木工教室を開催しました!

今年は、時間を午後3時までと2時間延長しました。7家族、23人の方々は時間を忘れて熱心に取り組み、たくさんの素敵な作品が笑顔と一緒に完成です。夏休みの良い思い出になった事と思います。暑い中、お疲れ様でした。



ありがとうございました。



樹齢120年の桧、工場に入り早速製材しました。

建具用に



節が少なく良い建具材



カウンタ
ー用!



樹齢120年の神社の木が入荷し、早速製材しました。杉は芯黒で良くはありませんでしたが、桧の根玉は節が少なく、柂目は建具材に、板目の広い板は敷台、カウンター用に、その他は造作や柱に挽き、乾燥中です。

「板倉の家」モデルハウス見学、予約受付中です。

モデルハウス見学のお問い合わせ・お申込みは下記までお願いします。

※メールでもOKです。(kk-nagai@po2.across.or.jp)

㈱ナガイ 島田市牛尾510-2 Tel (0547) 45-3501